

随筆

還暦に想う —晩秋の鶴舞公園・名工大界限にて—

丹羽 文雄 (K50)

本原稿の依頼を受け、30数年ぶりに妻と二人で晩秋の11月最後の日曜日に鶴舞公園と名工大構内を散策しました。鶴舞公園は日本さくら名所100選にも選定されているほどの桜の名所ですが、この日は本当に天気恵まれ、雲一つない抜けるような青空の下、銀杏の黄、もみじの紅、皇帝ダリアの薄紫、ばらの白とピンクなどが桜に負けじと残り少ない秋を惜しむかのように私たちを迎えてくれました。柊と南天の赤い実も見られ、花のない冬の季節、洋の東西を問わずおめでたい時節を飾る赤い実は、春を待ち望む希望の色なのかもしれない。

公園内では穏やかな日和のせいか、若いモデルの撮影会がそこかしこで行われ、もみじをバックに盛んにシャッターが押されていた。学生たちのアカペラの発表会も新しくなった奏楽堂の近くで行われ、聞くところによると近年はコスプレ撮影会も公会堂を中心に全国から集まった若者たちの間で行われているようです。

公園散策の目的の一つに、部活動の歓迎会を含め何度か酒宴を張った萩の茶屋と山の茶屋が健在かどうか確認することにあつたが、両茶屋ともおそらく40年近く前と同じ建屋で営業していたのは驚きであつた。特に萩の茶屋では、若



胡蝶が池の紅葉



萩の茶屋



皇帝ダリア



柊の実

い主人が表で田楽を焼いており、つい私はこんにゃくの味噌おでんと妻は甘酒を注文し、赤い毛氈の縁台に座り、鳥の声を聞きながら、しばしまわりの木々を眺め秋の深まりを感じていた。

J R 鶴舞駅から公園内を抜け、名工大の正門前の交差点に立つと母校の変貌ぶりに驚かされる。入学当時は、何の変哲もないコンクリート製の門で、その両脇には当時テレビニュースでお馴染みの角ばったでかい字で、中革、革マルの立て看板が並んでおり、一緒に戦おうと訴えてきたが、すでに安田講堂事件も終わり全共闘も終焉に近く素知らぬ顔して脇をすり抜けていた。当初は、活動員もまだおり教室にヘルメットにタオルのお馴染みの格好で侵入し、一通り野次っていったこともあったが、2年生の頃には全く見なくなった。高校の頃は岡林信康の「友よ 夜明けは近い」と反戦歌を口ずさむ程度の田舎者は、麻雀、部活以外にやることもなく、ましてや将来の夢もなく、叶わない空想を見ていただけであった。

あの頃から40年、昨年還暦を迎えた世代は、夜明けを見ただろうか。坂本竜馬の「日本の夜明けぜよ」は、真偽は別として、明治維新の高揚感を言い当てているが、すぐに時代に翻弄され列強の仲間入りを目指すうちに、せっかく顔を出した太陽はすぐさま軍国主義により日食が始まってしまった。金環日食ならまだしも、皆既日食の状態で先の終戦を迎えた。終戦後、徐々に影は小さくなり太陽は明るさを増し、村山内閣と鳩山内閣では完全に日食は終わると皆が思った。しかし、神は「日本人よ、奢れるなかれ」と阪神淡路と東日本の2度の震災を課し、「まだまだ苦しみ悶えよ、理想の社会は日本だけでは達成出来ず世界が一つにまとまらない限りは実現しない」と教えてくれた。

原稿執筆時は、総選挙前で乱立模様の選挙戦が一体どうなるのか、連立内閣が成立せずごたごたしているのか、船中八策ばりの人が「日本の夜明けやねん（まさか、だがねはないと思うが）」と叫び、同時に日食は終わり太陽（の党）

が輝く時代だと叫ぶのか、日食が逆戻りしないことだけを祈りたい。「天下一人を以て興る」は戦前の衆議院議員・ジャーナリストの中野正



南天の実



胡蝶が池



名工大正門

剛の言葉ですが、大きな志を掲げて自分には出来ない諦めるのではなく、成し遂げた完成形を描くことから出発して、自分が社会を動かしていくという気概だけは見習いたいと思う。

構内は、日曜日のこともあり閑散としていたが、卒論に追われているのか一部蛍光灯が付いている部屋も見えた。徹夜で仕上げた卒論の題名も忘れてしまうような自分は、名工大に何の痕跡を残さず去ってしまったが、日曜日にも頑張っている彼にはぜひ大成し、名工大の名を世に知らしめてほしい。十数本の銀杏並木は、それこそ黄金に輝くように見事であり、黄色いじゅうたんにぎんなんが落ちており少しいただいていた。毎年繰り返される植物の営みを見ると、生かされていることを意識して、繰り返される単調な日々の中、それでも情熱を失わずに新しいことを創造することが還暦を迎えた今の心境か。

古出来町のグラウンドにも足を延ばしてみた。マウンドに立つと、同期、先輩後輩の顔が浮かんできた。みなさん好々爺で孫と遊ぶのだけが生き甲斐だということではなく、現役バリバリで最後のご奉公に励んでおられることでしょう。併せて恩師である鵜野先生の還暦祝いではめを外したことも思い出した。鵜野先生はご健在で、俳句を再び始められ、数年前には句集をいただいた。鵜野先生のような人生には足元にも及ばないが、嘱託をもう数年で終えたら、残された時間で情熱を失わず、何が創造できるかを考えると第2の人生も今から楽しみである。

11月の初めに箱根に子供たちが参集し、還暦の祝いにゼクシオのドライバーをもらった。300ヤードの丹羽は昔の話だが、まだ我社にも丹羽超えを果たす若者はなく、ゴルフの飛距離も創造のうちのひとつと考え、情熱をかけてみようかと思う。ただし、上がってなんぼよ、と冷やかされるのは昔から変わらず、スコアは問わないことにしよう。

最後に、名古屋工業大学研究協力会に入会している我社には、毎年産学官連携センターから「技術の宝庫（名古屋工業大学シーズ集）」とい

う冊子が送られてくるが、その内容には重厚長大は一切影を潜め、軽薄短小（ナノ）・情報・健康・エネルギーといった分野が多く、時代の流れとは言え金属科出身の自分としては鉄の一字もないのは寂しい限りである。



構内銀杏並木



産学官連携センター



髪が心配な丹羽

学内ニュース

東海3県国立大学がシンポジウムを開催

名古屋工業大学では、国立大学協会防災・日本再生シンポジウムの一環として、東海3県国立大学が主催するシンポジウム「巨大自然災害に立ち向かうための土木工学・建築学の取組」を、平成24年10月28日(日)、東別院ホールにおいて開催した。

このシンポジウムは名古屋工業大学、名古屋大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、三重大学の東海3県の5大学が主催し、国土交通省中部地方整備局、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、国立大学協会の共催を得て実施された。

参加者は237人に達し、あらためてこの地域における防災・減災への関心の高さがうかがえた。参加者からは、これからの防災、減災に不可欠とされる、情報、連携、安全性の向上について、新たなヒントが得られたという感想があり、有意義なシンポジウムとなった。

(事務局)



会場での講演者

名工大で機関リポジトリコミュニティ形成の支援第2回研修会開催

「名古屋・東海地区における機関リポジトリコミュニティ形成の支援」第2回研修会が、去る11月1日に名古屋工業大学で開催された。

この研修会は国立情報学研究所の「学術機関リポジトリ構築連携支援事業」の一環で、名古屋・東海地区における機関リポジトリ担当者のコミュニティ形成を目的としている。第1回は、名古屋大学附属図書館で開催された。

第2回となる今回は、東海地区の国公立大学等のほか、近畿地区からの来場者もあり、あわせて17機関から35名が参加した。講師には信州大学附属図書館・津田ひろ子氏を招き、講演「EJ・コンソ・オープンアクセス」が行われた。また、愛知淑徳大学図書館の「リポジトリ立ち上げから現在まで」、名古屋工業大学附属図書館の「リポジトリ原則登録のルールづくり」、大阪青山大学メディアセンターの「大阪青山大学でのリポジトリ構築をととして-JAIRO Cloudでの構築-」の3つの事例報告がされた。参加者のアンケート調査では、具体的な事例報告が役立ったとの意見が多く、3回で終わってしまうのがもったいないとの感想もあった。最終回の第3回は、12月6日に愛知大学で開催される。

(事務局)



名古屋工業大学附属図書館長・松尾教授の挨拶



信州大学附属図書館・津田講師による講演

CI2012開催報告

名古屋工業大学 ながれ領域 准教授 中村 剛士
(電気情報工学科1993卒、博士後期課程電気情報工学専攻1998卒)

去る2012年9月12日(水)～9月14日(金)に、CI2012が名工大で開催されました。CI2012のCIはComputational Intelligence、すなわち「計算知能」を表すものとして理解していただければ良いかと思います。では、計算知能とは何か? と言えば、情報工学に余程精通している方でもない限りそれを正確に説明することは難しいのですが、Wikipediaからの抜粋としては、「計算知能(Computational Intelligence, CI)は人工知能研究の一分野であり、数理論理学に基づく従来の人工知能とは一線を画すものである。計算知能の研究は、ファジィシステムやニューラルネットワークや進化的計算といったヒューリスティック的アルゴリズムを中心とする。その他にも、群知能、フラクタル、カオス理論、人工免疫系、ウェーブレットといった技法も利用する。計算知能の研究では、学習や適応や進化やファジィ論理(ラフ集合)といった要素を駆使して、ある意味で知的なプログラムを作成することを目指している…」とあるように、読者の方々も一度は耳にしたことがあるであろう「ニューラルネットワーク」「ファジィ」を含む理論や技術を総称するものです。「ニューラルネットワーク」「ファジィ」は、80年代～90年代の日本製家電に搭載されて話題となりました。当時、「ニューラルネットワーク」「ファジィ」を謳ったエアコン、扇風機、炊飯器等を購入された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

工学に限った事ではありませんが、学問にはブームがあり、その学問の研究者・技術者が増えることで細分化が進み発展してきます。その後、細分化されたものが統合され、再び細分化・再び統合というプロセスが幾度も繰り返され、やがてその学問体系が形作られていきま

す。歴史深い分野の学問が、細分化と統合を何度も繰り返し体系化されたのに対し、歴史の浅い情報工学はまだ細分化と統合の過程の最中と言えます。「ニューラルネットワーク」「ファジィ」も細分化し、現在では計算知能として統合されていますが、近未来において再び細分化していくのでしょうか。先ほどのWikipediaの続きをさらに引用すれば、「IEEE Computational Intelligence Society は、2004年にできた(Neural Network Societyから改称)新しい学会であり、IEEEの中でも最も成長が著しい学会である。IEEE Computational Intelligence Society によって定義された計算知能の主要テーマは以下の通りである。ニューラルネットワーク、ファジィシステム、進化的計算: 遺伝的アルゴリズム、遺伝的プログラミング群知能: 粒子群最適化…」とあるように、姿形を変え、やがて学問体系を形作っていくものと思われます。

今回のCI2012は、実は第22回日本神経回路学会全国大会(JNNS2012)と第28回ファジィシステムシンポジウム(FSS2012)の合同大会として実施されました。大会委員長には名工大から情報工学科の岩田彰教授、実行委員には同じく情報工学科の黒柳奨准教授、船瀬新王助教、伊藤宏隆助教が名を連ね、実行委員長の一人として中村も運営に携わりました。JNNS2012を主催する日本神経回路学会とFSS2012を主催する日本知能情報ファジィ学会はともに「ニューラルネットワーク」と「ファジィ」それぞれの日本最大の学会で、これらが合同で大会を実施するのは今回が初めてのことです。今回、その会場に名古屋工業大学が選ばれたことは大変名誉なことと言えます。実際、参加者総数は532名に上り、第1回大会に相応しい大規模かつ盛

況な会議となりました。比較的近い分野の研究者が集まる両学会ですが、これまで各学会の研究者間の交流は活発ではありませんでした。CI2102では、大会テーマに「脳と知の融合を目指して」を掲げています。これは、大変素直な表現で、「脳」が日本神経回路学会を表し、「知」が日本知能情報ファジィ学会をほぼ直喩として表しています。正に両学会の交流を促すための大会だったわけです。CI2012の会期中のイベントは、当然ながらこのテーマに沿ったものとして構成されました。とくに会期中の3日間毎日設けられた講演会では、韓国から招待講演者としてMinho Lee氏をお呼びし、国内からは特別講演者として、山ノ井高洋氏（北海学園大学）と小松英彦氏（自然科学研究機構・生理学研究所）にご登壇いただきました。いずれの講

演も近年話題の「脳科学」分野関連した話題にフォーカスが当てられ、大変興味深い有意義な講演会となりました。

来年度の日本神経回路学会全国大会とファジィシステムシンポジウムの準備はすでに始まっており、来年度の開催は別々の時期と会場で実施されることが決まっています。これは、CI2012の開催以前に決定していたことで変更は出来ないのですが、今回のCI2012に参加された皆様からは、近い将来CI201xを開催してほしいとの意向を多数伺っており、実現可能性は高いものと思われます。その時再び名古屋工業大学が会場となるか否かは不明ですが、このような全国規模の大きな学会を再び名古屋工業大学で開催出来ることを密かに期待している次第です。



CI2012の受付風景



セッション風景1



基調講演



セッション風景2

大阪支部・兵庫支部平成24年度秋季見学会報告

10月9日(火)、関西化学機械製作株式会社 常務取締役 山路寛司様(D49)の御紹介で、同社見学会が開催されました(7学科15名が参加)。

同社は、昭和23年、アルコール生産プラントを建設する会社として京都で設立されました。毎年、学生・研究者や企業関係者を対象とした蒸留などの実習講座を、自社主催あるいは化学工業会関西支部と共催で開催しておられる会社として有名です。

まず初めに、名古屋工業会 大阪支部長 木越正司様より御挨拶をいただき、引き続き、同社社長 工学博士 野田秀夫様から環境ビジネスに関する御講演をしていただきました。

それによれば、同社は、1980年にブラジルで合弁会社を設立し、サトウキビからアルコールを生産するプラントを建設(120kl/dayを生産)されて以来、いろいろな企業と共同で間伐材、わら、麦わらなどからアルコールを生産するプラントの開発を行っておられるそうです。

そして、徳島県那賀町に同社が建設されたアルコール&リグノフェノール工場における新たな試みについても伺うことができました。この樹脂は、2005年愛知万博において、一人乗りの車i-unitのプラスチック部分に用いられた実績があります。

最近では、ポリカーボネートの耐熱性向上剤、鉛電池の負極材など付加価値の高い新しい用途の開発も進めておられるそうです。

同工場では、杉材のおが屑が樹脂の原料として使用されており、諸条件を調整しつつ連続運転をしながら試運転を繰り返しておられるそうです。

そこで同時に生産されるアルコールは、農業用トラクター等の燃料として使用テストされる計画であり、本格的な実用化が成功すれば「地産地消」を図ることができます。

また、同工場で使用される原材料の硫酸や有機溶剤などは、できるだけ廃棄せずに回収し再利用できるように研究を進めておられるそうです。このような回収・再利用が実現すれば、環境への影響が極力抑えられるだけでなく、コストダウンにもつながることになります。

更なる改良の下、樹脂の用途が多様化しその需要が増えるとともに、このような工場が全国に広まって行くことになれば、衰退した地域経済の活性化を促し、結果として里山や森林の保護が容易

になり、環境保全をも図ることができます。

同社は従業員55名の化工機メーカーですが、世界を変える可能性を持つ環境ビジネスにかかわっておられるということを知り、感銘を受けました。

引き続き山路様の御案内でいろいろな特徴のある化工機を見学させていただきました。

特にジャケット付攪拌槽で液面の高さに関係なく伝熱面積が一定となり作業性や熱効率が上がる「ウォールウェッター」や、圧力損失の少ない「リフトトレイ蒸留装置」などの特許製品には興味が尽きませんでした。身の回りにある最終製品を見ても分かるものではありませんが、このような装置の複雑な組み合わせこそが、わが国の産業の強みとなっているということを改めて感じました。

懇親会には社長の野田様にも参加していただき、参加者一人一人に本見学会の御感想などを発表していただきました。その中で、山林を所有されている方が、山が荒れている現状を話され、右のようなアルコール&リグノフェノール樹脂工場ができるだけ早期に実現するよう、野田社長にお願いされておられました。

本見学会では、JR立花駅から徒歩で同社まで訪問させていただいたのですが、その途中蓬川でボラの大群のお出迎えを受けました。餌付けされ人になつくようになったにせよ、川沿いに歩く私達をいつまでも追って泳いでくるので驚きました。

かつてこの辺りは尼崎公害で有名でしたが、今では環境がかなり改善してきているということを強く印象付けられた場面でありました。

同社の環境ビジネスができるだけ早く成功されるよう願わずにはいられませんでした。

記：高原喬二(D46)





謹賀新年

平成25年元旦

名古屋支部

〔平成24・25・26年度主担当単科会:名窯会〕

支部長	春日敏宏	Y56
幹事長	道家清正	Y30
総務	多賀茂	Y62
同	牛田裕	Y51
庶務	橋本忍	Y②
同	加藤隆史	Y56
同	岡村隆志	Y60
計	本多沢雄	Y⑥
同	勝祐介	Y⑤

〔単科会 代表幹事〕

C E 会	山盛康	C③
光 会	栢本良三	A31
巴 会	杉山耕一	M⑥
電 会	三宅正人	E60
双 会	泉地正章	W44
緑 会	大橋聖一	D45
名 会	多賀茂	Y62
名 会	平野春好	K50
計 会	大鑄史男	F49
経 会	仁科健	B50
情 会	犬塚信博	J62
翼 会	小鹿良雄	Ⓚ23

事務局 〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4
名古屋工業会内 ☎(052)731-0780

東京支部

支部長／副理事長	D41	阿部 完二
副支部長／理事	C42	坂井 利充
副支部長／理事	Es42	平手 孝士
常任幹事／理事	Y40	日沖 昭
相談役／参与	C33	石川 金治
相談役／参与	D33	横田 章弘
相談役／参与	E36	小田征一郎
相談役／参与	M43	張田 吉昭
顧問	W33	飯田 秀郎
顧問	M35	星野 三郎
監事	Es46	山田 吉英
監事	M47	松浦 明人

常任幹事／評議員

C48	檀尾 恒次
C55	松田 和繁
A63	石田 交広
M45	小野 尚純
M46	北野 良幸
M55	戸澤 宏一
E39	加藤 勝英
E44	井上 憲二
D44	岡本 利郎
D51	松居 和治
W38	倉島 俊二
Y42	清 健太郎
K43	須賀 久明
K46	阪井 真人
F51	寺倉 学
B42	濱野 勝弘

幹事

C47	小林 保充
A47	平松 利昭
A61	工藤 晃一
Es43	森本 良亮
D35	濟木 雅敏
D38	三山 雄次
D45	鈴木 満雄
D45	堀 定次
W43	印藤 嶠
F45	松永 新之
B43	近藤 政之
Ⓚ20	北野 豊

北海道支部（北鯨会）

支部長 三田村 好矩（F41）

評議員 田上 利明（C47）

静岡支部

支部長 山之上 誠（C49）

静岡支部役員一同

東北支部

支部長 斎藤 文伸（A51）

事務局 〒982-0821 仙台市太白区松が丘3-22
☎&FAX 022-228-0685

尾張支部

支部長 玉田 欽也（W32）

平成25年度支部総会は稲沢市民会館で
4月20日（土）に開催します。

甲信越支部

支部長 茅野 正澄（K55）

山梨県 長野県 新潟県内会員一同

岐阜支部

支部長 山中 茂樹（A34）

事務局 〒501-6121 岐阜市柳津町上佐波2-339 田中清之（A54）気付
☎ 058-279-6381

大 阪 支 部

支部長／本部副理事長 C 44 木越 正司
副支部長／本部理事 E 36 藤原 康宏
副支部長／本部理事 E 48 三木 敏裕
副支部長 A 46 岡崎 格郎

総務委員長 * A 51 玉水 新吾 同副委員長 D 51 佐野 義和
事業委員長 E 48 三木 敏裕 同副委員長 D 46 高原 喬二
会員増強委員長 * C 55 小西日出幸 同副委員長 A 57 山邊 雅英
同副委員長 * G 52 田中 耕嗣
地方部会委員長 E 36 藤原 康宏 同副委員長 C 51 金坂 聖子
広報委員長 * M 39 山本 泰三 同副委員長 * D 41 末利 鏡意
財務委員長 G 54 大貫 雅彦
監 事 * B 42 布施順之助

単科会支部長 C 47 西川 芳久 単科会支部長 Y 40 片岡 宏治
単科会支部長 A 48 河崎 恭広 単科会支部長 K 39 長谷川啓治
単科会支部長 M 45 掛田 健二 単科会支部長 F 55 坂尾 健司
単科会支部長 E 37 土居 秀行 単科会支部長 B 42 布施順之助
単科会支部長 W 40 今井 啓祐 (以下役員16名は空白)
単科会支部長 D 41 末利 鏡意 *は本部評議員

地方部会幹事

和歌山県 C 57 東 照久 C 53 向井直樹
奈良県 E 47 原尾則行 G 50 西川嘉一 C 52 福井広行
滋賀県 A 46 福永忠昭 M 46 中川平三郎 M 45 伊藤俊明
京都府 D 45 西村源四郎 D 45 駒田周美

北 陸 支 部

支部長 山岸 憲一郎 (K 33)

平成25年度支部総会は今秋、福井にて行います。
皆様のご出席をお待ちしております。

岡 山 支 部

支部長 宮崎勝秀 (A 45) 幹 事 野村幸宣 (C 54)
評議員 中村浩巳 (A 54) 浜野弘史 (Es 56)
評議員 虫明正博 (K 59)
幹 事 堀内 章 (K 38) 事務局
石井敏典 (G 47) 〒701-0113 倉敷市栗坂467-22
斉藤 実 (C 55) 虫明産業(株)内

広 島 支 部

支部長 菱 川 躬 行

事務局 〒735-0015 広島県安芸郡府中町青崎東8番49号
株式会社システム総合研究所
☎ 082-284-5630

兵 庫 支 部

支 部 長 楠 田 修 三 A 50 元・兵庫県庁
副支部長 井 田 登 FM② 三菱重工業
高瀬 陽太郎 C 55 兵庫県庁
事務局長 前田 多津夫 A 38 元・三菱重工業
監 査 役 羽 倉 昭 二 C 54 神戸市役所
顧 問 秋 山 敏 郎 C 33 元・兵庫県庁
幹 事 玉 置 秀 人 C ⑨ 兵庫県庁
羽 倉 昭 二 C 54 神戸市役所
西 川 芳 久 C 47 神鋼環境ソリューション
一 宮 誠 M 61 神戸製鋼所
多 田 篤 志 E ⑬ 神鋼環境ソリューション
上 村 芳 大 M 55 川崎重工業
武 藤 崇 史 EJ② 三菱電機(一般・東)
井 田 登 FM② 三菱重工業
加 藤 恵 之 K 44 白鷺特殊鋼(一般・西)

【本 部】

代議員 H25年度 楠 田 修三 A 50 兵庫県庁
同上 井 田 登 FM② 三菱重工業
参 与 同上 楠 田 修三 A 50 兵庫県庁

九 州 支 部

謹 賀 新 年

毎年1回の例会には皆様のご出席をお待ちしております。
平成25年は11月初旬に福岡市で行います。

連絡先：支部長 喜多村治雄 0940-33-6114
事務局 永濱 伸介 092-716-2100 (清水建設(株))
佐藤 孝志 093-872-2833 (新日鉄住金(株))

名古屋工業大学名窯会

会 長 加 藤 倫 朗 (Y 40)
日本特殊陶業(株) 代表取締役会長
最高顧問 牛 込 進 (Y 33)
(株) TYK 代表取締役会長
副 会 長 道 家 清 正 (Y 30)
名古屋工業会 理事
委 員 牛 田 邦 裕 (Y 51)
名古屋工業会 参事
多 賀 茂 (Y 62)
名古屋工業会 評議員

事務局 環境材料工学科 本 多 沢 雄 (ZY 6)
TEL&FAX 052-735-5281
E-mail honda@nitech.ac.jp

浅井翻訳事務所

浅井利夫 (E31)

〒227-0038 横浜市青葉区奈良3-10-21
TEL 045-961-6216 FAX 045-960-1396
E-MAIL JBA00531@nifty.com

株式会社 TYK

代表取締役会長 牛込進 (Y33)



豊田合成株式会社

〒452-8564 愛知県清須市春日長畑1番地
TEL:052-400-1055 FAX:052-409-7491
URL:<http://www.toyoda-gosei.co.jp>

トヨタ車体株式会社

取締役会長 水嶋敏夫 (M42)

〒448-8666 刈谷市一里山町金山100番地
TEL (0566) 36-7500
URL <http://www.toyota-body.co.jp/>

SAKURA SOFT HOUSE

SSH

株式会社 サクラソフトハウス

中小企業様のIT支援を承ります。

- ★★ 業務システムの構築・改善
- ★ ホームページの作成 Webサイトの構築

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4 名古屋工業会館4F
TEL 052-735-3171 FAX 052-735-3172
E-mail : sakurash@na.rim.or.jp <http://sakura-info.net>

総合印刷の 栄光社

〒466-0014 名古屋市昭和区東畑町一丁目42番地
TEL (052) 741-7701 (代)
FAX (052) 741-7703 番

日本最大級の物流取扱量を活かして
メール便に代表される発送費をコストダウンし
新たなSP提案を致します!

メールカスタマーセンター株式会社

名古屋支店 〒464-0850 名古屋市千種区今池4-15-3
TEL 052-741-0400 FAX 052-753-4811
<http://www.mail-cc.com>

UNIV. 名古屋工業大学生協同組合

専務理事 稲吉顕吾 (EI12)

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL (052) 731-1600 FAX (052) 731-8726
E-mail : inayoshi@nitcoop.or.jp



「名古屋工業大学管弦楽団OBオーケストラ演奏会」開催のお知らせ

第17回名古屋工業大学管弦楽団OBオーケストラ演奏会を次のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

日時：平成25年2月2日(土)

開演：午後3時（開場：午後2時30分）

場所：愛知県芸術文化センター コンサートホール

演目：ブラームス／交響曲第2番ニ長調

サン・サーンス／交響曲第3番『オルガン付き』

指揮／今村能

入場券：全自由席 1,000円（「チケットぴあ」で取り扱い
ますが、当日券もご用意いたします）



【オーケストラの解説】

本オーケストラは、名古屋工業大学管弦楽団のOBによって編成され、運営されております。昭和50年に第1回演奏会を開催して以来、基本的に隔年で演奏会を開催してまいりました。

演奏会には全国から、現在までの名古屋工業大学管弦楽団の各時代を担ったOBが多数参集し、十数回の練習を重ねて本番に臨みます。

今回の演奏会も、名工大オーケストラ約50年の歴史の最初期から新卒まで、親子以上の年代幅のOB多数が集まって、力を合わせて演奏会を催します。個性派の名工大オーケストラの味わいを楽しんで頂きたいです。

皆様多数の御来場をお待ちいたしております。

編集後記

1・2月号の準備を終えて周りは総選挙の投票日間近で騒がしく、年末と重なって気持ちが落ち着かない所です。

工業会も4月から、一般社団法人としてのスタートの準備に忙しい所。

我々新編集委員も開始後約半年過ぎて、委員長として、今迄の委員長に対し、本当に謝意と敬意を表するものであります。また委員の方には、各単科会の代表として責任感を大いに発揮さ

れ、協力頂いて有難い事です。皆様から投稿を頂いたものをタイムリーに掲載できない時は、本当に心苦しく思っています。

自分がやってみて初めて感じるものも沢山ありました。やはり一人でも多くの方に読んで貰え、一人でも多くの方に投稿頂ける会誌にしたいと思います。ご意見や写真も歓迎致します。

平成25年も宜しくお願いします。

編集委員長 森川民雄

一般社団法人名古屋工業会の定款で定める役員

理事	理事長	篠田陽史 M33
	副理事長	春日敏宏 Y56 阿部完二 D41 木越正司 C44 北村 正 Es48
	常務理事	二杵幸夫 K39
監事		清水益文 F44 安藤正晴 B43
代議員	北海道(1)	秋山秀雄 Es43
	東 北(1)	栗村滋雄 C29
	東 京(7)	坂井利充 C42 平手孝士 Es42 日沖 昭 Y40 松居和治 D51 北野良幸 M46 石田交広 A63 須賀久明 K43
	甲信越(2)	若林俊樹 M56 樋口 順 C48
	静 岡(2)	藤井義麿郎 Es49 榊原 学 F48
	三 河(11)	中島和彦 Y58 吉木 満 W56 宇野富士夫 D③ 佐藤章雄 F52 沼澤成男 M59 高橋祐二 ZY⑦ 岡本幹浩 M60 中島茂伸 B53 長谷部 勲 K56 二井郁夫 K58 岩月幹雄 K56
	名古屋(23)	阪野春彦 C56 兼岩 孝 C54 藤田素弘 C60 内藤克己 A43 水野直樹 M53 武内博明 Mb① 富田庸公 Mb① 杉山耕一 Ma④ 菊間信良 Es57 森田良文 E62 中村剛士 EJ⑤ 廣瀬光利 E50 長縄 渉 Es④ 三宅正人 E60 森川民雄 W45 伊藤 豪 D41 緑 静男 D42 大橋聖一 D45 多賀 茂 Y62 小山敏幸 K61 守田賢一 F47 鷺見克典 B63 犬塚信博 J62
	尾 張(6)	中村啓之 A41 服部重夫 Y43 立石吉行 M44 杉本 握 C35 隠岐敏夫 D40 音無道男 W41
	岐 阜(7)	各務剛児 C53 亀山義比古 A43 堤 善治 M45 関尾光正 D41 大久保陽一 Es44 笹島 康 Y39 兼松克司 K42
	北 陸(2)	森 悦次 K46 馬場清和 M44
	三 重(4)	小林 明 G49 北川貴志 C50 久世憲志 C52 太田啓雅 E62
	大 阪(5)	藤原康宏 E36 三木敏裕 E48 岡崎格郎 A46 玉水新吾 A51 田中耕嗣 G52
	兵 庫(2)	楠田修三 A50 井田 登 FM②
	岡 山(2)	中村浩巳 A54 虫明正博 K59
	広 島(1)	菱川躬行 E34
	山 口(1)	岸田潤三 C58
	山 陰(1)	森下 博 C56
	香 川(1)	浅野啓三 F60
	徳 島(1)	福井一博 A46
	愛 媛(1)	浜田裕介 D④
	高 知(1)	山内 健 C53
	九 州(2)	喜多村治雄 M40 安達高春 A46

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座—材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ各種要素技術…
品質系全30講座—DRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法
マネジメント系全10講座—経営品質、もしもラダーマップ、
プロジェクト管理…

WORLDTECH

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

〒458-0901 名古屋市中区錦2-15-22リそな名古屋ビル7F

TEL: 052-219-6025

FAX: 052-219-6026

E-mail: solution@worldtech.co.jp

特許業務法人

英知国際特許事務所

EICHI Patent & Trademark Corp.

所長 弁理士 岩崎孝治

— 知財の総合コンサルタント —

東京本部 〒112-0011 東京都文京区千石 4-45-13
TEL: 03-3946-0531(代) FAX: 03-3946-4340神奈川支部 〒224-0006 神奈川県横浜市都筑区荏田東 1-23-2
TEL: 045-532-3827 FAX: 045-532-3828浜松支部 〒430-0806 静岡県浜松市中区木戸町 3-18
TEL: 053-461-5662山形支部 〒994-0026 山形県天童市東本町 1-2-20
TEL: 023-651-6102 FAX: 023-651-6102<http://www.eichi-patent.jp>

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・
パンフレット・ポスター・定期刊行物
etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げら
れたノウハウはDTPにおいて、特に
不得意とされる版組みの書籍・表組み
の頁物も得意分野です。

印刷

カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色
刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供
いたします。
Macintoshのみならず、ワード・太
郎等の通常オフセット印刷に適さな
いWindowsデータの出力ノウハウも
ありますのでご相談ください。

製本

目次・表紙・体装・詩歌・俳句・小説・エッ
セイ・雑誌・絵本等、自分の本を作りた
いとお考えの方。
各種マニュアル・広報・配布文書・名簿・
クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本で
お困りの学生・法人の方、少ロットよ
りお手伝いします。総合印刷の
有限会社 栄光社

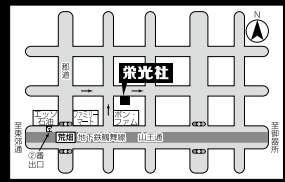
〒466-0014 名古屋市中区東郷町一丁目42番地

TEL: (052) 741-7701

FAX: (052) 741-7703

URL: <http://www2.ocn.ne.jp/eik/>

E-mail: eikou@theia.ocn.ne.jp

(株)ブライダルは
名古屋工業大学会員の皆様の
「結婚」を応援します。34年の実績
(一橋大コースetc)左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってください

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥220,500 ▶ ¥204,750 etc.

エクセレントコース ¥378,000 ▶ ¥362,250 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り。
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

お問い合わせ
(月曜定休)

0120-415-412

<http://www.bridal-vip.co.jp>名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

前田 健一	山口 啓 (C49)
北川 啓介 (A⑧)	安楽 崇宏 (M⑧)
大羽 達志 (MF③)	廣瀬 光利 (E50)
中村 剛士 (EJ⑤)	吉木 満 (W56)
高木 幸治 (ZW⑤)	野中 久義 (D⑨)
吉野 明広 (G53)	道家 清正 (Y30)
本多 沢雄 (ZY⑥)	宮地 義彦 (K50)
米谷 昭彦 (F60)	守田 賢一 (F47)
横山 淳一 (Fb⑥)	犬飼 伸宏

社団法人名古屋工業会会誌

「ごきそ」に広告を掲載しませんか!

「ごきそ」は15,000部を隔月発行し、
会員・広告主・関係官庁・各学会・大
学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

会誌「ごきそ」のバックナンバーは、名古屋工業会のホームページ
<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>でご覧いただけます。